

NHK跡地の整備について

1 今後の方向性

- (1) 基本構想に基づくNHK跡地整備基本方針の7項目のうち、まずは5項目に資する史跡整備を、保存活用委員会にて具体的に検討していく
 ※公園・憩いの場としての整備を主として、ガイダンス・便益機能としての案内板、解説板、四阿（休憩所）、ベンチ、多目的トイレ、水飲み場などの整備も含む
- (2) NHK跡地整備基本方針の残る2項目に資する施設などの整備については、その機能や規模の整理等を行い、引き続き検討していく

「熊本城跡千葉城地区（J T跡地、NHK跡地）保存活用基本構想」（P11 抜粋）

3 NHK跡地の基本方針

- 【土地】** 特別史跡に追加指定し、国補助なども活用して土地を取得する。
- 【整備】** 文化財価値の保存、千葉城地区の歴史を表示、熊本城の理解促進、景観保全と緑地の整備、歴史・文化を伝える整備、熊本城復旧復興の拠点、熊本城調査研究の拠点 など

2 事業費及び財源

	用地取得	史跡整備
事業費	来年度、不動産鑑定・NHKとの協議を予定	今後の具体的整備内容による
国補助	8割	5割

3 具体的な史跡整備の要素

①城の東側から本丸地区を眺める視点場としての景観保存・緑地の整備

- ・旧NHK建物…解体・撤去
- ・ツツジ……………保全
- ・その他の樹木…危険な樹木や眺望を阻害する樹木は伐採・剪定



旧 NHK 建物

②既存の「駐蹕地記念碑」「武蔵井戸」の保存と説明板の追加設置

- ・記念碑……………現地保存し、説明板を追加
(近代の地図や偕行社の古写真等を使用)
- ・武蔵井戸……………現地保存し、説明板を追加
(設置経緯不明のため、簡単な紹介程度)



駐蹕地記念碑

③新規で歴史表示の「解説板」や「パネル」を設置

→設置場所は屋外及び四阿（休憩所）を予定

- ・千葉城横穴群……実測図・調査当時の写真・

出土品（古墳時代の土器）写真等で解説

- ・土地利用の変遷…坪井川河川改修、旧城域、玉川流路等を
絵図・古写真等で解説

- ・宮本武蔵……………武蔵の肖像画（島田美術館所蔵）写真、
「二天記」写真等を使用



千葉城横穴群

④便益施設を整備

一般的な「史跡整備」で多く見られる「便益施設」の種類としては、以下のようなものがある。

- 解説板 ○四阿（休憩所） ○ベンチ ○多目的トイレ ○水飲み場 など

4 施設検討のあり方

- ・保存活用委員会では、「管理事務施設は特別史跡外に建てるべき」「施設の必要性は認めるがNHK跡地が最善なのか、城域全体での検討が必要」などの意見をいただいた。
- ・施設の適切な設置場所について検討するためには、「史跡の内・外」という議論だけではなく、以下のような諸条件を考慮する必要がある。
例：「機能（管理・調査研究・ガイダンス）」、「規模（敷地面積・既存建物・人数）」、「保存活用計画（熊本城を6地区にゾーニング）」、「復旧基本計画（JT跡地や合庁跡地は「石置き場」ほか工事ヤードとしての利用）」、「位置（城・本庁舎との距離・交通アクセス）」、「場所（来城者から見える・目立つか）」、「土地所有者（国・県・市）」、「遺構残存状況（過去の破壊度合い）」、等
- ・まずは「特別史跡内外の利用状況」、「管理機能・調査研究機能の現状」「分散している倉庫機能の現状」について、報告する。